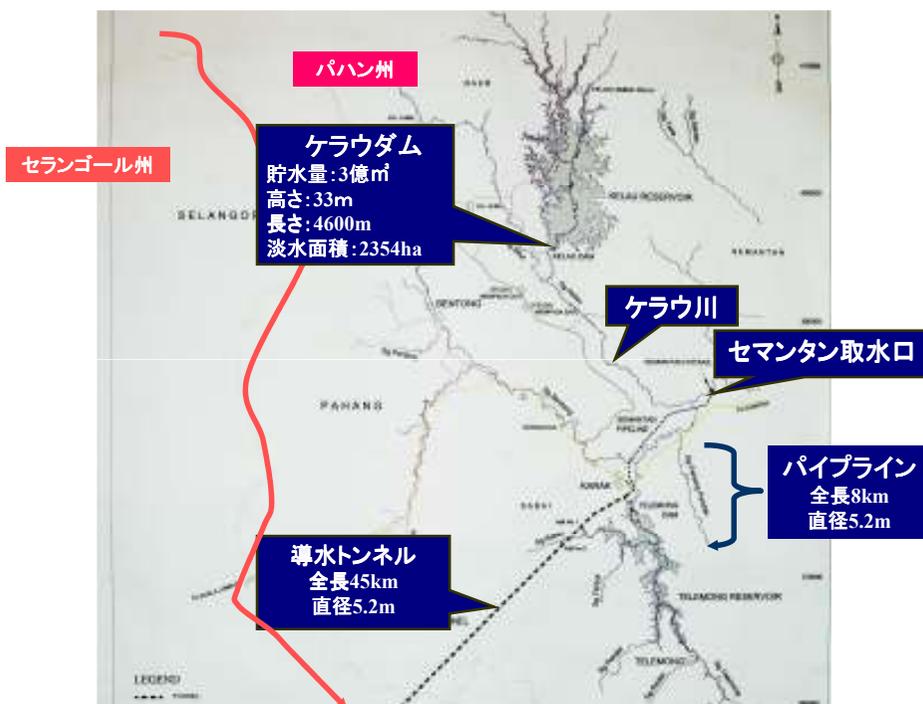


緊急セミナー: ODA改革
事例3: パハン - スランゴール導水事業
~中進国向けの巨額ODA~

国際環境NGO FoE Japan
清水規子
shimizu@foejapan.org



事業の場所



ケラウ川

事業概要

- ・目的: マレーシアのセランゴール州及び同州内に位置する首都クアラルンプールにおける将来の工業用水と飲料用水の水需要対策
- ・事業者: マレーシア政府
- ・総事業費: 約1171億円
- ・現状: 2010年4月、工事着工
- ・日本のODAの関与

1999年	事業の妥当性等に関する調査をJICA(当時の国際協力銀行:JBIC)が実施
1999年	JICA(当時のJBIC)、事業実施に先立ち、設計業務等を行うコンサルティングサービスに対して、マレーシア政府とエンジニアリング・サービス借款契約を締結(10億9300万円)
2005年	JICA(当時のJBIC)、本体事業に対し、820億4000万円までの融資を決定



疑問①

中進国マレーシアに過去最高規模・優遇条件での融資

1. 中進国への大規模融資
 - ・マレーシアは、1994年度以降、一人あたりGNI(1999年世銀統計3,400ドル)が基準(2995ドル)を上回っているため、中進国(=ODA卒業国)とされている。

	マレーシア パハン・セラン ゴール	インドネシア コトパンジャンダム	ケニア ソドゥ・ミリュウ
総事業費	1171億円	366億5600万円	約200億円
JICA融資金額(E/S含む)	831億3300万円	311億7000万円	181億5500万円
一人あたりGNI(2008年、international \$)	13,740	3,600	1560

2. 特別円借款としての低利融資
 - ・本体事業への借款は、特別円借款供与条件
同事業の場合、0.95% < 通常の中所得国は1.6~2%

疑問②

自然保護区を撤回する巨大インフラが環境案件？

- ・中進国は、通常、「卒業国」とみなされているものの、ODA供与対象分野も限られている。中進国の場合、円借款が供与可能な分野は「環境」を含め4分野に限定されている。
- ・本案件は、環境案件として分類...

特別環境案件金利のエンジニアリングサービス借款

*同事業の場合、0.75% < 通常の中進国への円借款は1.6~2%

一方、森林の保護地区が撤回され、1517haが水没

...東京ドームが324.45個分



疑問③

相手国のためのODA？

- ・事業における、日本企業の関与

事業の妥当性等に関する調査	日本工営
エンジニアリングサービス借款のうち、事業の詳細設計及び施工管理等	日本工営
本体事業のコンサルタント契約	東電設計
導水トンネルの工事	西松建設と清水建設
...その他、ダム等	今後？

- ・導水トンネルについては、日本にしかない技術で設計されたといわれている。
- ・一方、マレーシア国内では「高コストの事業。もっと安い水需要対策があるのでは？」との声も。



疑問④ 甘いODA供与の審査と後手後手の対応

・同事業については、**ODA供与決定前から**、現地NGO、日本の国会議員、FoE Japanから、主に以下の問題が指摘されていた。

①事業の必要性に関する疑問

②①に関連した情報の完全な形での公開

③先住民族の非自発的住民移転等、環境社会問題

・2005年、JICAは融資決定。しかし・・・

・JICAによる、事業の必要性に関する疑問に関連した情報の完全な形での公開は、2009年。

・先住民族の移転問題への、外務省・JICAとしての本格的な対応は、2007年、現地で訴訟沙汰になった後。

事業から導き出される課題 ～今後のODAに向けて～

1. 援助は誰の／何のためか？
 - ・ 中進国への支援？
 - ・ 日本企業への支援？
2. 貸出しの際、優遇条件がつけられる「環境案件」は、どうあるべきか？
3. 保護地域指定を撤回して実施する事業は、支援するべきではないのでは？
4. 支援の可否を問うべき「融資決定前」の審査体制を、強化するべきではないか？